

法の日週間行事

模擬少年審判見学会 開催結果

令和5年11月13日
松山家庭裁判所において
松山市所在の大学の1、2年生を対象に模擬少年審判見学会を開催しました。

【プログラム】

- ・少年事件の流れ、家庭裁判所調査官の説明
- ・少年審判廷、調査室の見学
- ・模擬少年審判の体験・見学
- ・質問コーナー



急に冷え込んできたなか、9名の大学生に参加していただきました。



少年審判手続や家庭裁判所調査官の仕事内容を説明



模擬少年審判の場面

少年、父、母役を参加者に体験してもらいました。

(注) 実際の審判廷とは配置が異なります。



決定言渡しの場合



質疑コーナーで質問している様子

いくつか質問の内容を紹介すると

- ・「審判結果は、裁判官の恣意的な判断になっていないか」、「社会の仕組みが再犯率を上げているのではないか」といった大きな視点からの質問
- ・「少年の両親への働きかけは、どのようにしているのか」、「少年が何も話さなかった場合、どのように対応するのか」といった具体的な場面についての質問
- ・「家庭裁判所調査官になるためには心理学を勉強しておく必要があるのか」といった家裁調査官になるために必要な知識についての質問がありました。

質問に対して、裁判官、家裁調査官、付添人役で参加の弁護士から、それぞれ自身の経験談を交えながら回答しました。
最後の質問に対しては、「心理学を学んだ人だけでなく、法律を学んだ人などいろいろな分野の人が家裁調査官になっており、最初の2年間の研修で各分野の知識が均一化されていくので、その点は安心してください」と背中を押す発言がありました。